

# 新規採用教員へのインタビュー



西村 雄志 にしむら ゆうじ

県立烏城高等学校教諭  
(令和4年度採用)

自己紹介

令和4年度から高等学校教諭として採用されました。初年度は4年生、今年度は1年生の、夜間部の担任をしています。教科は地歴公民です。社会人を経験してから、いわゆる「転職」をして教員になりました。映画鑑賞や野球観戦が趣味で、今年はファンの球団の調子が良いので応援にも熱が入っています！

**Q** 教員を目指した理由を教えてください。

前職の社会人時代も、教育に係る仕事をやっていたのでつながり程度で、希薄なものでした。いろいろな子どもと話すうちに、教員として、生徒と長期間にわたりがかわっていきたいと思うようになったことが一番のきっかけです。また、私は歴史が好きなので、その面白さを教えたいと思ったことも一つです。

**Q** 授業ではどのようなことを大切にしていますか。

歴史分野では、用語やできごとのみではなく、その背後にあるド

ラマチックさ・面白さを伝えたいと思い取り組んでいます。公民分野では税金や選挙など生活に身近な話題から学習を展開していくことで、生徒の興味をひくように意識しています。どう興味をもたせるかというところは難しいですが、生徒が食いついてきてくれると嬉しくなります。

**Q** 社会人経験が生きていると感じることはありますか。

社会人経験は、全てプラスに生きていると感じています。民間企業では、結果を出し、顧客満足度を高めることが常に求められていましたが、教員になっても、そのことは強く意識しています。生徒のために、常に挑戦すること、改善することを大切にしています。

現在も1人1台端末をどう有効活用していくかということを考え、生徒にとってよりよい授業が実践できるよう、改善を

**Q** 教員採用試験の対策について教えてください。

講師として仕事をしながらの試験対策だったので、特に筆記試験に向けては大変でした。岡山県の教員になるにあたり、「求める教員像」、「授業ファイブ」など、岡山県として重視しているのはどのようなことかを調べ、それを大切にして試験対策に取り組んでいました。

**Q** 目指す教員像を教えてください。

信念や矜持をもった教員でありたいと思っています。生徒に自分の姿をしっかりと見せたいという思いもあります。楽しんでる姿、挑戦している姿などを見せ、それ

を通して生徒にも何かを感じてほしいという思いがあります。

学習指導においては知識を教え込むだけではなく、生徒が自ら調べ、理解することができるよう、その道筋を立て誘導することができますようにしたいと考えています。1人1台端末も活用しながら、生徒それぞれの理解度に応じた学習が展開できればと思っています。そのためにも、日々の授業を振り返り、改善・挑戦を重ねていきたいです。

**Q** 今後の抱負を教えてください。

学習指導や生徒とのかかわりをもっとレベルアップさせたいというのはもちろんですが、働き方ということについても取り組んでいきたいと考えています。校務には、アナログな部分であるとか、ロスが多いと感じることもあります。マニュアルがない業務についてはマニュアルを作成し、担当者が異動しても誰でもスムーズな業務ができるようにしていきたいと考えています。こういった部分にも民間企業での経験を生かせたらと思っています。